

学科長 英国漫遊記

2023年8月26日(土)から9月4日(月)までイギリスへ行ってきました。
『グリーン・ノウの子どもたち』などの児童文学作品で知られるイギリス人作家、ルーシー・M・ボストン(1892-1990)の研究旅行に参加したのです。

ボストンは生前、英国最古の住宅のひとつである石造りの家「ザ・マナー」で暮らしていましたが、その家で開かれる日英の研究者のカンファレンス(会合)で発表することが主な目的でした。しかし他にもイギリス児童文学ゆかりの地を訪れ、作家の親族に会って話を聞くなど、たいへん有意義な旅になりました。



イーリー大聖堂見学(『トムは真夜中の庭で』の舞台)



ザ・マナーの庭でティータイム



ランチのコロネーション・チキン



カンファレンスで発表



ザ・マナーの前で、ボストンの義理の娘、ダイアナさんと



ボストン愛用のグラモフォンを聴く



厚さ1メートルに達する石の壁

カンファレンス翌日は『トムは真夜中の庭で』の作者フィリパ・ピアスの家を訪れ、ピアスの娘サリーさんにお話をうかがいました。その後オックスフォードへ足を伸ばし、ボドリアン図書館で資料探しをしました。(N.H.)



サリーさんによる作品解説



こちらでもお庭でお茶



オックスフォードにて(何をやってるんだ?)



国際英語学科